

JA事業とJAくらしの活動を積極的に展開し、協同の輪を広げ、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に取り組みます。

農家所得の向上・生産拡大

- 品目別栽培指導による現地検討会の開催、共例会、共進会への出品。
- 優良種苗供給体制の確立
- 契約栽培の充実
- 計画購買による生産資材の安価供給、予約注文書の充実
- TAC活動によるサポート体制の強化
- 無料職業紹介事業の拡大
- 作業受託事業の拡大
- 部会活性化による系統共販率の向上
- 登録面積の推進、集荷拡大
- 消費地での消費宣伝会の実施やメディアを通じたPR活動
- 特産品詰め合わせ「もっこりセット」、大玉にんにく「匠にんにく」の販売促進



地域貢献活動

- 青年部、女性部と連携したJA管内小学校等で農業体験学習
- 地域住民対象の親子でハロウィンかぼちゃ作り
- 助け合い組織の福祉施設訪問
- JAおいらせ杯少年少女スポーツ大会

JAおいらせは組合員・地域の声を聴き、ニーズに応えるために、これまでの事業の工夫や見直しに取り組み、地域に必要とされる組織を目指します。

第18回通常総代会～全議案承認される～

令和元年6月26日 会場:JA本店

総代数 430人

本人出席 220人

議決権行使書面提出 163人



平成30年度の事業報告、および平成31年度計画、会計監査人の選任など6議案が審議され、すべての議案が承認されました。

今年度は、にんにくCA乾燥貯蔵施設の年度内完成に向け、組合員の財産を守り、農業者の所得増大と農業生産の拡大を実現するため、自らの創意工夫と総合的な農業者支援に取り組みます。また「地域の活性化」に向け、JAくらしの活動とJA事業を積極的に展開し、協同の輪を広げ、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に取り組みます。※詳細は総代会資料を確認願います。

○平成30年度剰余金処分の概要

- 当期末処分剰余金 137,146,939 円
- 剰余金処分額 110,761,450 円
 - (1) 利益準備金 22,000,000 円
 - (2) 任意積立金 80,000,000 円
 - 倉庫等修繕・解体積立金 (10,000,000 円)
 - 財務維持積立金 (70,000,000 円)
- (3) 出資配当金 8,761,450 円
 - 出資額に対し0.5%
3. 次期繰越剰余金 26,385,489 円
 - 営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てる為の繰越額 5,400,000 円が含まれています。

○会計監査人の選任

みのり監査法人（東京都）

平成27年に改正された農協法に基づき、平成31年度以降は全国中央会による監査から会計監査人による監査に移行。

(報告事項)

○総代会で決議した事項の処理状況

六戸子豚市場を七百7号米倉庫として改修。三沢地区・六戸地区の主食用・飼料用米を集約して貯蔵し、作業管理を効率化。

